



ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

◆桜・ツツジ・いろいろ♪

あつという間に桜も後半戦、まだまだ見頃は続きますが、最後は八重咲きの品種が飾ります♪ツツジ、その他、春のお花も続々と増えてきます。ウマノアシガタも群生しています。



◆4月に見頃のお花♪

ヤマシャクヤク (山芍薬)

ボタン科。牧野博士命名種。

5月には紅花山芍薬が咲きます。



オンツツジ (温躑躅)

ツツジ科。牧野博士命名種。

公園内では一番多い躑躅で、その数なんと数百本!



ニリンソウ (二輪草)

キンポウゲ科。

バイカオウレン区で群生しています。



ウマノアシガタ

ゴテンバザクラ

シヨウゲツ



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

machimarugoto syokubutsuen

◆『みんなで育てよう! 牧野博士ゆかりの山野草・種まき会』開催♪

2月16日、牧野公園で、山野草種まき会が行われました。たくさんのお問い合わせがあり、町内外40名以上の方にご参加いただきました。あいにくの大雨で散策は中止になりましたが、賑やかに、ポットに種まきをし、その後、ガイド予定だった春のお花「C・LOVE」メンパーさん達による「早春のお花プチ紹介」が行われました♪
元気に芽吹いた苗が大きくなった頃、鉢上げ会でお会いできるのを楽しみにしております。

また、2月28日には、黒岩小学校3・4年生13名の生徒さんが公園を訪れ、種まき会を行いました。
種まき用に土を配合するところから、種をまき、優しく水をかけるまで、一生懸命作業していました♪



◆「まちまるごと植物園サポーター募集中!」

2月の募集開始以降、多くの方に届出をいただき、3月10日現在サポーターにお配りしているロゴプレートの設置数は、すでに20力所を超えました。個人のお庭や地域の花壇など、植物の種類は問いませんので、まずはお気軽にチーム佐川推進課までお問い合わせください♪

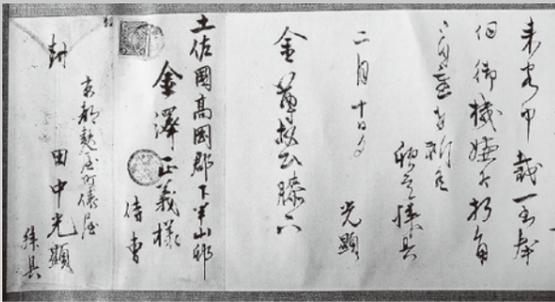
◆4月24日(土) 26日 牧野富太郎生誕祭!

詳細はさかわ観光協会(20ページの記事)をご覧ください♪

青山文庫だより

新規寄贈資料の紹介

先日、田中光頭みつねの母・献子けんこの実家である、半山金沢家(現津野町)のご子孫の方から、田中ゆかりのものとして大事に保管されてきた資料4件の寄贈を受けました。新聞にも大きく掲載されましたので、ご存じの方も多いんじゃないでしょうか。
今回は、寄贈いただいた資料の中から、田中光頭の書状2点を、簡単に紹介します。



田中光頭書状(一部)

一つ目の手紙は、明治33(1900)年のもので、母・献子の死に際し、天皇・皇后陛下から慰問を受けた事を叔父・金沢正義に事細やかに伝える内容です。

家族の死は大変な悲しみ

を伴いますが、志士であった田中にとって、

敬いの対象である両陛下か

らの厚遇は、大変名誉な事であったでしょうし、母の実家にもその名誉を伝えられたのではないのでしょうか。
二つ目の手紙は、明治34(1901)年のもので、出張で滞在中の京都から、叔父へ自身の近状(今回は旅行の内容)を伝えているものです。

京都では、皇族に会い、御所ごしよや二条離宮(元の二条城)を視察したり、なかなか忙しいようで、「通常の旅行のように景勝地を楽しむ事が出来ず残念だ」と言っています。

どちらも、田中の個人的な手紙で、しかも相手が叔父という極めて親しい人物ですので、政治家として偉大になった田中の手紙としてはちよっと珍しいものではないでしょうか。

両方とも今回の企画展で展示していますので、ぜひご覧ください。

(青山文庫 藤田有紀)

展示案内

春の企画展「志士たちの遺墨」

小展示「西谷文庫の世界」

6月7日(日)まで

文芸

川柳

守りたい 椅子へ意見が 多すぎる
フライトへ 地図を見ながら 機内食
味噌汁へ 季節外れの 茄子が浮き
寂聴たふ 振り向かせる言葉 テレビ欄
東 聖 (ペンネーム)

俳句

見なれたる 鶯が輪をかく 春の里 味元 佐知子
付け焼きの 言の葉あはし 老いの春 東 聖 (ペンネーム)

短歌

脳内海馬 バラバラに為す アミロイド 抗うすべなき 白き斑点よ
リヤカーに 行灯あんどんともしつ 売り歩く 婆の居たころ 昭和懐かし
いと早き 今年の春を 嬉しきと 思ひて良きや 憂いて良きや 黒岩 英起

西空を染めし夕日に山燃えて 今日という日のカーテンしまる 湯上りにポタく落ちる髪滴く なりゆきまかせの天然パーマ 福寿草 (ペンネーム)

応募先: 佐川町教育委員会社会教育係
〒789-1201 佐川町甲356-2
電話 22-1110 FAX 22-0070

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか?

※6月号への掲載を希望される方は5月1日(金)まで
投稿方法:氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。